

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



入梅の候、皆さん、体調を崩されてはいませんか？

東京都は11日に、新型コロナウイルスの感染拡大に警戒を呼びかける「東京アラート」を

解除しました。

4月中旬から約2カ月にわたって続いた休業要請は、第3段階まで緩和され、徐々にではありますが、以前の日常が戻ってきているように感じます。

目に見えないコロナと共存する新たな生活様式の実践は、まだまだ不安や不自由さもありますが、身の安全は何ものにも替えられません。



又、この時期のマスク着用は熱中症が心配ですが、休養や水分補給を忘れず、どうぞお元気でお過ごしてください。

終結に向けて、今一人一人ができることに心を配り、掛け替えない大切な命を守りましょう！ もう少しの辛抱です。

失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！(19)
新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただいています。ご参考になれば幸いです。

【憧れて取り付けた「食洗機」が、

いつのまにか「水切りかご」に・・・】

折角の新居なのだから、設備はできるだけ最新のものを取り付けたい・・・と考える方も多いでしょう。

この気持ち、よくわかります。

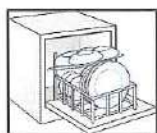
中でも、汚れた食器の後片付けをしないですむ食洗機は主婦の夢。

ところが、ある人の経験によると、長年にわたり自分の手で食器を洗う習慣が身についている為、折角取り付けた食洗機は、1～2回使っただけで無用の長物になってしまったそうです。

「あった方がいいかも？」

「今の流行だから」

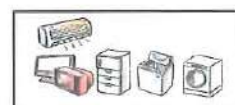
という理由で、こういった内部設備の設置を決めてしまうと、結局は使わずじまいになりかねません。



寒い時期には嬉しい床暖房やキッチンの足元暖房、浴室暖房乾燥機、24時間いつでも好きな時間に入れる風呂、生ごみ処理機、乾燥機能付き暖房洗浄便座、等等、最新の設備機器には便利なものがたくさん発売されています。

「あれも欲しい」

「こんなものがあつたらいいな」



でも、憧れだけで取り入れるのはやめましょう。

自分のライフスタイルに照らし合わせて、本当に必要なものかをしっかりと見極め、上手に取り入れるようにしましょう。

あつても使わなければ邪魔になるだけ。

こんな無駄はしたくありませんよね。

※次回からは新たな情報をお届けします。

「衣替え」

近年は、季節外れの陽気が続く日もあったり、どこにいても冷暖房が行き届き、1年中、同じ服で過ごせることが多くなったため、特に「衣替え」を行わない人も増えているそうです。

又、自分のこだわりのファッションで通年過ごす人もいます。そのため、「この日から夏装束に変わる」と言われてもピンとこないかもしれません。

でも、衣替えは、単純に夏服と冬服の収納場所の入れ替え作業ではないのです。

快適に生活するために、衣類をチェックする良いタイミングでもあります。

季節が変わり、ファッションが替わると何だかウキウキしたりするもの。

暑い時期に備え、軒先にすだれを吊るしたり、部屋のカーテンや敷物を夏素材のものに取り替えたりする目安にしてもよさそうです。

「衣替え」で、気持ちもスッキリと切り替えられるといいですね。



花嫁の父



6月の花嫁さんはきっと幸せになれる・・・との言い伝えがあるジュンブライドの伝説から、自分もこの月に結婚したいと憧れる女性が多いようです。

結婚は、花婿・花嫁さんだけが幸せであればよいということではなく、両親はもちろん、今までお世話になった周囲の皆さんから認められ、祝福されてほしいものです。

主役はもちろん2人ですが、陰で支え、心配してくれるお父さんの存在はあまり表に出ません。

そこで今回は、そんなお父さんの気持ちに触れるお話を紹介します。

～ある女性の思い出～

彼が、私の両親に結婚の許しを得るために、私の実家を訪ねた時の話です。

緊張はしたものの、その場の雰囲気はとても和やかで、両親とも2人の結婚を祝福してくれているのはよくわかったのだけれど、彼は、肝心な

「お嬢さんと結婚させてください！」との言葉を口にできずにいました。

結局、彼は最後までその言葉を切り出すタイミングが無いまま帰ることに・・・。

私は、彼を送るため先に玄関に出て彼を待ちました。しばらくして彼も玄関に出てきて、両親にペコリと頭を下げ、実家を後にしました。

そして、彼を最寄りの駅まで案内するため、並んで歩き始めました。その時、彼が言ったのです。

「お父さん、泣いてたよ」って。

彼を部屋に残し私が玄関に立った後、お父さんに「〇〇さんを必ず幸せにします」って言ったんだって。そしたらお父さんは、彼の手を握り、うっすらと涙を浮かべながら「娘をよろしくお願ひします」と答えてくれたそう。

その後しばらくして私は彼と結婚したのです。

共働きのため、そう頻繁に実家に帰ることはできないけれど、たまに実家に帰ると、父は殆んどお酒が飲めないのに夫と一緒にお酒を飲みたがりました。

後になって聞いた話ですが、以前から父は親類の人たちに、「〇〇は、絶対嫁には出さん！」と口癖のように言っていたらしい。

しかし、彼と結婚後、その父は、夫を本当の息子のように可愛がってくれ、信頼し、いつも褒めてくれました。



そんな父が、結婚3年目に他界。

夫は、「お父さんにろくな親孝行をしてあげられなかったな・・・」とポツリと言った。

私も、父には心配ばかりかけて、親孝行らしいことは殆んど何もしてあげられなかった。

でも、父は、息子と一緒にお酒を飲むことができ、幸せだったのかな・・・？と思うことが、今の私の慰めになっています。

母親とはまた違う形で愛情を注ぎ、見守ってくれる父親。どちらも大切な大きな存在ですね。

「編集後記」

未だ終息をみない新型コロナウイルス感染。

皆さんのストレスも、かなり溜まってしまったのではないのでしょうか？

そんな中、今年も梅雨の時季を迎えました。

雨が長く続くと窓も開けられず換気もままならず・・・。

三密をどうしたら避けられるのか気掛かりですね。

さて、21日は父の日です。普段は留守になりがちですが、今は在宅で仕事をするお父さんも多いかもしれません。

折角のこの機会に、ご家族揃って父の日をお祝いできるといいですね。どうぞ楽しい時間をお過ごしください。

今月も、お読みいただき有難うございました。

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。お待ちしております。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子